



ふれあい

平成29年9月25日
京都市立第三錦林小学校
校長 鎌井 百合子

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。さて、保護者の皆様にはお忙しい中、夏休み前の学校評価にご協力いただきありがとうございました。また同時期、児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、7月の結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題について分析し、今後の取組に生かしていきたいと思います。

前期学校評価（7月）の結果より

A…よくできている

B…大体できている

C…あまりできていない

D…できていない

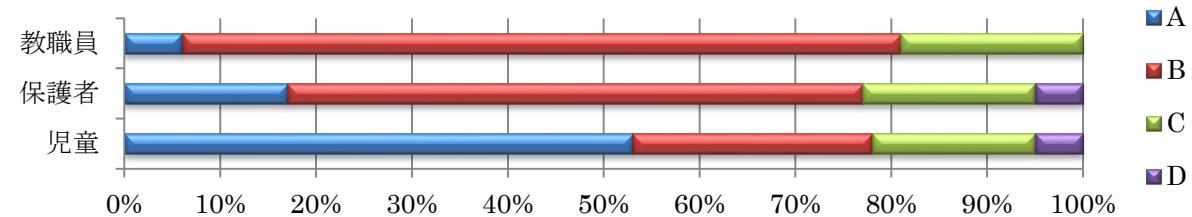
	子ども					保護者				教職員					
	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
【確かな学力】	まいにちのがくしゅうのめあてがたっせいできている。	45%	48%	6%	1%	わが子は、学んだことを身につけている。	17%	78%	5%	0%	確かな学力（思考力・判断力・表現力）が身につくようにしている。	6%	81%	13%	0%
	よんだりかいたりけいさんしたりするちからがみについている。	58%	32%	10%	0%	わが子は、基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身についている。	21%	72%	6%	1%	基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身につくようにしている。	19%	81%	0%	0%
	いえですすんでがくしゅうするしゅうかんがついている。	53%	25%	17%	5%	わが子は、家庭学習の習慣が身についている。	17%	60%	18%	5%	自主的・計画的な家庭学習の習慣が身につくように工夫している。	6%	75%	19%	0%
	じゅぎょううちゅう、しゅうちゅうしてがくしゅうにとりくんでいる。	56%	37%	5%	2%	わが子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	18%	60%	19%	3%	意欲的に学習に取り組めるように工夫している。	12%	69%	19%	0%
【豊かな心】	じぶんからすすんであいさつをしている。	66%	27%	6%	1%	わが子は、自分から進んで挨拶をしている。	16%	62%	21%	1%	進んで挨拶できるように取り組んでいる。	28%	50%	17%	5%
	がっこようくるのがたのしい。	66%	26%	4%	4%	わが子は、学校にいくのが楽しいと言っている。	40%	52%	7%	1%	子ども一人一人を大切にする学校づくりをしている。	39%	50%	11%	0%
	ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	79%	19%	1%	1%	わが子は、友達を大切にし、仲良くしている。	42%	57%	1%	0%	友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	22%	78%	0%	0%
	こまったくことはせんせいやかぞくにそうだんしている。	55%	30%	11%	4%	保護者は、わが子と会話する時間をとっている。	28%	66%	6%	0%	子どもと会話する機会を積極的に設けている。	44%	50%	6%	0%
【健やかな体】	はやね・はやおきをして、あさごはんをしっかりたべている。	54%	38%	8%	0%	保護者は、わが子が早寝・早起きをして朝ごはんをしっかり食べられるようにしている。	26%	63%	11%	0%	基本的な生活習慣が定着するように取り組んでいる。	5%	78%	17%	0%
	そうじやせいりせいとんをきちんとしている。	40%	41%	16%	3%	学校は、清掃等が行き届き、整理整頓がされている。	30%	67%	3%	0%	校内の美化に向けて、積極的に取り組んでいる。	5%	78%	17%	0%
	すすんでうんどうしている。	62%	26%	11%	1%	わが子は、進んで運動している。	34%	47%	17%	2%	進んで運動できる工夫をしている。	6%	61%	33%	0%
【独自の取組】	がっこようからのおたよりをおうちのひとにわたしている。	71%	24%	4%	1%	保護者は、ホームページや学年（学級）だより等によって学校の取組を理解している。	15%	77%	8%	0%	学校ホームページや学年（学級）だより等によって学校の取組を発信している。	5%	56%	33%	6%
	いえやがっこようのルールをまもつている。	59%	37%	4%	0%	わが子は、家庭や学校のルールを守っている。	18%	75%	7%	0%	学級や学校のルールを守ることができるように取り組んでいる。	17%	72%	11%	0%
	じぶんのよいところがいえる。	45%	37%	14%	4%	保護者は、子どものよさを認め、ほめている。	17%	72%	11%	0%	子どものよさを認め、ほめている。	17%	78%	5%	0%
	すすんでどくしょをしている。	60%	31%	6%	3%	わが子は、読書に親しんでいる。	21%	42%	31%	6%	意欲的に読書ができる工夫をしている。	17%	61%	22%	0%

*裏面では、子どもたちの姿から学校の取組や家庭との連携について、「成果」と「課題」を考えます。

【確かな学力】

○「基礎的・基本的な学力の定着」の設問において、A・Bと回答した子どもは90%，保護者は93%でした。今年度も、清掃時間後に「帯タイム」の時間を設けており、奇数週は計算、偶数週は文字・漢字と設定し、基礎の定着を図ってきました。そのことによる成果が表れているのではないかと考えます。今後も学力保障への取組を継続していきたいと思います。

●「家庭学習について」の設問では、「いえですすんでがくしゅうするしゅうかんがついている。」の質問に対してC.Dと回答した子どもは22%，「わが子は、家庭学習の習慣が身についている。」の質問に対してC.Dと回答した保護者は23%，「自主・計画的な家庭学習の習慣が身につくように工夫している。」の設問に対してC.Dと回答した教職員は19%と、それぞれ約5分の1が、家庭学習は不十分、または工夫が不十分ととられていることが分かります。学校においても、学力を身につけるためには、効率的な予習や復習が大切であることやその方法について、子ども達に伝えていかなければならぬと考えます。また、発達段階に応じた毎日の課題についても量や質を再考し、目的なく課題を設定するのではなく、学力伸長の基盤をしっかりと固めることができる手立てとなるように取り組んでいきたいと思います。



【健やかな体】

○「早寝・早起き・朝ごはん」の設問において、A・Bと回答した子どもは92%，保護者は89%でした。ご家庭において、高い意識をもって取り組んでいただいていることがよく分かります。基本的な生活習慣が、子ども達の生活に大きな影響を与えることは言うまでもありません。学校では、今後も休み明けの生活調べや毎日の健康観察などで、継続して子ども達の様子を見ていきたいと思います。保護者の皆様には、引き続き体調管理をよろしくお願ひいたします。

●「そうじやせいりせいとんをきちんとしている。」の設問に対して、約2割の子がC.Dと回答しました。清掃指導等の徹底を図りたいと思います。

【豊かな心】

○「友達を大切にし、仲良くしている。」という設問に対して、A.Bと回答した子どもは98%，保護者は99%でした。これは、長年、人権教育を基盤にして取り組んできたことや、道徳やふれあいの日などの授業、日々の生活の中で一人一人を大切にする学校づくりを目指してきた結果ではないかと考えます。今後も子ども達を温かく見守っていきたいと思います。

●「学校に来るのが楽しい。」という設問に対しA.Bと回答した子どもは92%，「わが子は、学校へ行くのが楽しいと言っている。」という設問に対しA.Bと回答した保護者は94%と、多くの児童や保護者の方から肯定的な回答がありました。しかし、わずか数%ではありますが、C.Dとどちられていることについて、しっかりと現状を見極め、丁寧に対応をしていかなければならぬと考えています。

●「進んで挨拶をしている」という設問において、A・Bと回答した子どもは93%であったことに對し、保護者は78%でした。このことから、子ども達は自分から進んで挨拶をしていると思っているものの、保護者はそう感じていなことが分かります。学校では、PTAの方や委員会活動による「あいさつ運動」や日々の教育活動の中において、挨拶の大切さを伝え指導を行っています。しかし、「自ら進んで」ということや「相手に聞こえる声で顔を見て」ということについては、今後の課題として重点的に伝えていく必要を感じます。また、日頃から見守ってくださっている地域や保護者の方、見守り隊の方々にも気持ちのよい挨拶をすることを心がけるよう、声かけをしていきたいと思います。ご家庭でもご協力を願いいたします。

【独自の取組】

○「読書活動」にかかる設問において、「進んで読書をしている」の質問にA・Bと回答した子どもは91%でした。「朝読書」の時間や委員会活動による「読書週間」の取組、ボランティアの方による読み聞かせやおたよりなどにより、興味をもって本に親しむ子どもが増えたのではないかと思います。今後も、学校司書の先生や読み聞かせボランティアの方とも連携を取りながら、量だけでなく質の向上にも努めてまいりたいと思います。

●「じぶんのよいところがいえる。」の設問に対して18%の子がC.Dと回答しました。一人一人が自己肯定感を高め自信につながる取組を、積極的に取り入れる必要があると感じました。

～自由記述から～ 多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

★「引渡し訓練の列が長くなっている、引き渡すまでに時間がかかりすぎている」というご指摘を受けました。本年度の引渡し訓練は、多くの保護者の方にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。この点につきましては、次年度の懸案事項として、よりよい方法で訓練することができるよう考えてまいりたいと思います。

☆その他、各学級や学習面でお気づきの点について、ご意見・ご感想なども記述していただきました。保護者の皆様が学校評価に真剣にお取り組みいただいたことに感謝し、いただいた学校評価を真摯に受け止めなければ感じております。また、「参観など、子どもの様子や学校の様子を見られる機会が多いのでうれしい。」「学校の取組を機に子どもが苦手なことにも、頑張るようになった。」などのご意見も頂戴いたしました。こうしたご意見を励みにするとともに、ご期待に添えるよう、今後も子ども達のために取り組んでまいりたいと思います。子ども達の成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力を願いいたします。